

市長タウンミーティング実施報告

企画財政課 ☎046(235)4634

市民と市長が対話する市長タウンミーティングを各地域で行いました。各会場であがった意見や質問、回答の一部を抜粋してお知らせします。そのほかの質問や回答などは市ホームページをご覧ください。

【実施日】2月15日～3月15日の土(日)(祝)

【場所】コミセンなど市内16会場

【参加人数】581人



実施報告掲載ページ



質問1 まちの発展に伴う治安維持

社家「コミセン」

海老名駅周辺の開発で防犯・ごみの問題が気になっている。まちの発展により生まれる課題への対応について伺いたい。

【回答】人口の増加で犯罪率は高まる傾向にあると言われています。本市の犯罪件数は「地域パトロールの強化」「えびな安全安心ステーションの運営」「防犯カメラの増設」により減少しました。今後も警察や自治会と協力して犯罪対策をしていきます。

本市はポイ捨てなどが少なくきれいなまちです。ごみ袋の有料化や戸別収集により、ごみに対する皆さんの意識が向上した効果によるものだと思います。

質問2 交通渋滞の解消を希望

河原口自治会館

幹線道路が渋滞すると、生活道路を抜け道として利用する人が非常に多く不安。住民の安全を確保できる対策はあるか。

質問6 「ぬくもり号」の継続

上今泉「コミセン」

「ぬくもり号」は交通手段として欠かせないもので、車内はコミュニケーションの場でもある。減便や有料化を図るなどして、運行の継続はできないか。

また、廃止したルートになぜ「You Bus」ではなく、運賃の高い「えび〜くる」を走らせるのか。

【回答】「You Bus」の運行には、国土交通省の許可が必要で、停留所の位置や運行事業者の資格など安全の確保が必要になります。そのため「ぬくもり号」の代替交通として、「えび〜くる」を普及させていきたいと考えています。

「えび〜くる」は予約が取りづらいとの意見があるため、今後車両を増やす予定です。金額は500円と少し高いですが、さまざまな場所に迎えに来てくれるというメリットがあります。低所得者は300円に下げるなどの検討を行っています。



【回答】幹線道路の渋滞と、生活道路の抜け道利用は問題と認識しています。過去の渋滞からの解消の兆しもありますが、課題が多いのも事実です。県道の交通渋滞は県が主導し解決するように要望を行っていきます。



質問3 開発による新たな交通渋滞

大谷公民館

市役所周辺に複数の物流倉庫が建設されると聞いたが、交通渋滞につながるのではないかと心配している。考えを伺いたい。

【回答】大谷北に建設中の倉庫を出入りする車両は市道12号線から市道海老名駅大谷線を南側へ向かうため、海老名駅周辺の道路は通行しない予定です。また、騒音問題についてもしっかりとチェックしていきます。海老名駅周辺に商業施設が増えるため、県の協力を得ながら対応していきます。

質問7 子ども医療費未使用分の分配

小田急本社

子どもに対する補助や小・中学校の増築、保育園の増園など対応に感謝している。児童手当が約1万〜1万5000円支給されているが、もう少し増えれば、第2子や第3子もと考えている。医療費助成は助かる一方で、毎月病院に通っている訳ではないため、通っていない分を子育て支援に回すことなどを検討してほしい。



【回答】児童手当制度は国の事業のため、自治体で変更できるものではありません。中学生までの医療費助成は他市に先駆けて無料にした経緯があり、国が医療費の基準を上げたため、本市は高校生年代まで範囲を拡大し無料としています。所得制限がある自治体もありますが、本市はセーフティーネットと捉えているため、高校生年代までの医療費助成を所得制限なしで継続実施していきます。

質問5 自治会役員の担い手不足

さつき町集会所



さつき町では高齢化が進んでおり、自治会役員の担い手がいない。自治会への支援策を具体的に教えてほしい。

【回答】多くの地域で役員不足の問題があると聞いています。地域に行政職員が住んでいる場合は、その職員が役員になるのも1つの案と考えています。県とも現状と課題を共有し、協力してもらえないかなど、両者で話し合いを進めています。